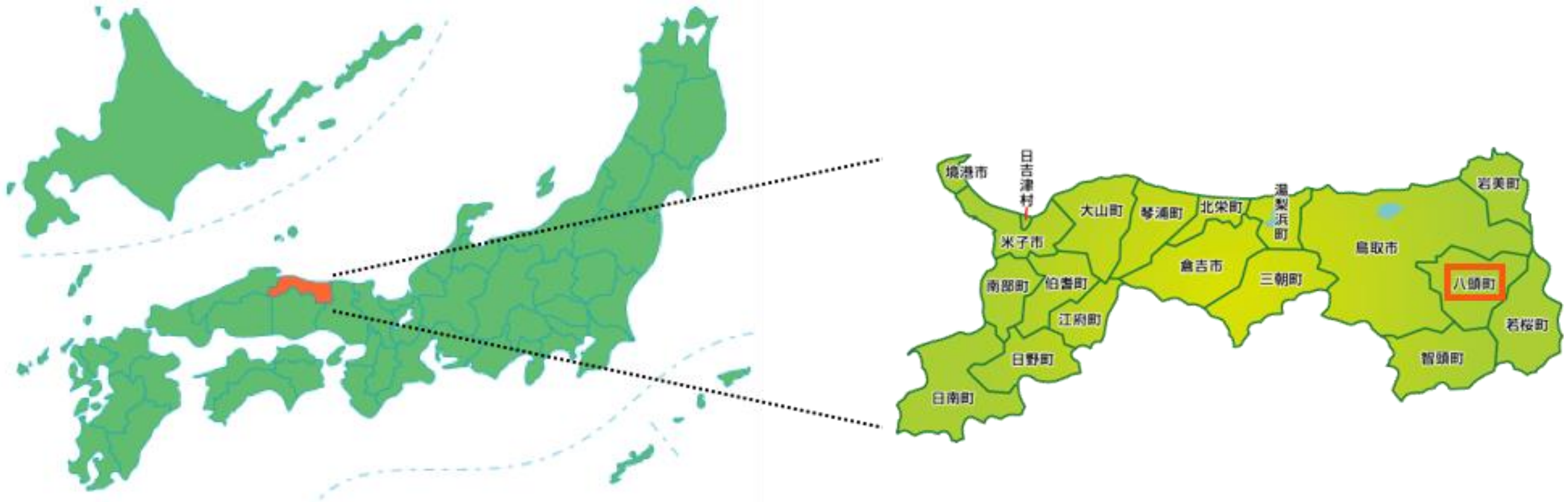


持続可能な未来の田舎を作る、 新たな地域の拠点「隼Lab.」



八頭町、(株)シーセブンハヤブサ

鳥取県八頭（やず）町



人口	16,451人	世帯数	6,130世帯
高齢化率	36%	面積	206.71m ²

※人口・世帯数は2021年9月30日現在
※高齢化率は人口における65歳以上の割合、2015年統計調査による

The logo for T Lab. is centered in the upper half of the image. It features a stylized 'T' composed of three horizontal bars: a top blue bar, a middle green bar, and a bottom orange bar. Below the 'T' is the text 'Lab.' in a large, black, sans-serif font.

T Lab.



行政

民間企業

八頭町

隼Lab.を保有・整備

無償貸与

持続可能な
運営

シーセブン
ハヤブサ

隼Lab.を運営

Lab.

共通目標

隼Lab.を拠点に、持続可能な未来の
モデルとなる田舎をつくる

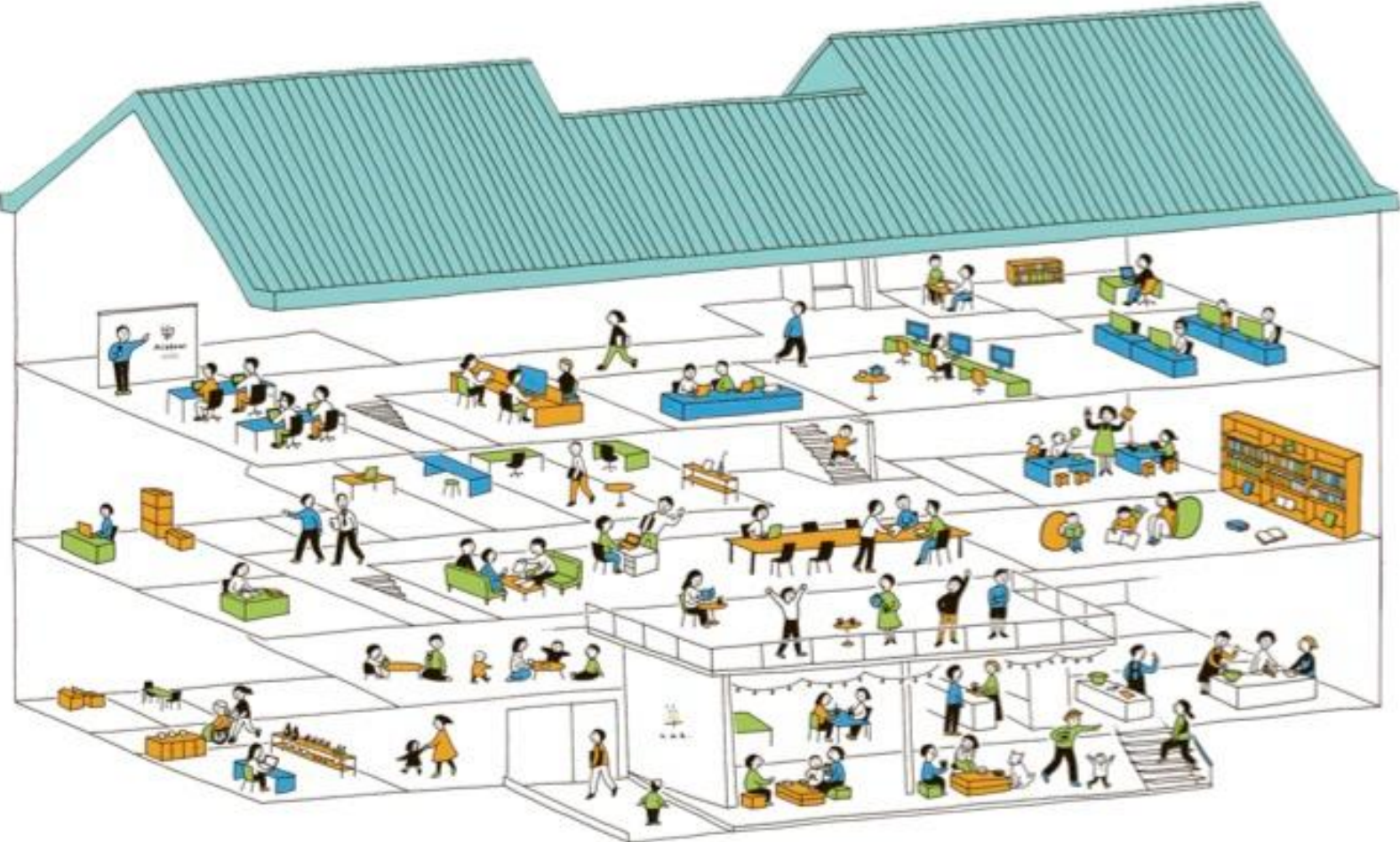


新しい集落ができたようで、嬉しい。









シェアオフィス

コワーキングスペース

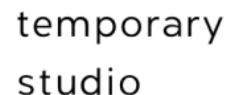
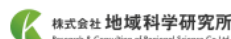
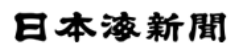
カフェ
ショップ

地域の活動拠点
訪問看護ステーション



シェアオフィス入居・コワーキングスペース会員含めて

全44企業が入居



平均勤務者数

カフェ来客数

60人/日

3万人/年

平成30~令和2年の3年間で、視察件数91件。

挑む、活かす、生み出す、続ける。



C-SEVEN HAYABUSA



代表取締役CEO



(株)トリクミ

鳥取県内にて飲食店を運営、デザイン・ブランディング業務も行う。隼Lab.内のカフェも運営。代表取締役CEO・古田琢也（八頭町出身）がシーセブンハヤブサの代表も務める。



取締役



(株)アクシス

鳥取県内大手のIT企業。隼Lab.内にも入居し、地方のIT企業として様々な取り組みを行う。代表取締役・坂本哲（鳥取県出身）がシーセブンハヤブサの取締役を務める。



取締役

AOI TYO Holdings

AOI TYO Holdings(株)

広告コンテンツの戦略立案・企画・制作を行う傘下子会社及びグループの経営管理。代表取締役グループCEO・中江康人（鳥取県出身）がシーセブンハヤブサの取締役を務める。



監査役
+ 行員1名を出向



(株)鳥取銀行

地域金融機関の立場から、隼Lab.の運営や、隼Lab.を拠点とした起業創業のエコシステムの構築に取り組む。担当行員1名がシーセブンハヤブサに出向。

八頭 未来の田舎 PROJECT

様々なアイデアや技術を持つ企業と
コミュニティを掛け合わせ、

テクノロジー×コミュニティの力で

地域の課題を解決するプロジェクト。

八頭町・シーセブンハヤブサ・
鳥取銀行が連携して推進する。



さあ、未来の田舎をつくろう。



少子高齢化



耕作放棄地の増加



産業の衰退



空き家の増加



町の財源減少



廃校の増加



買い物難民



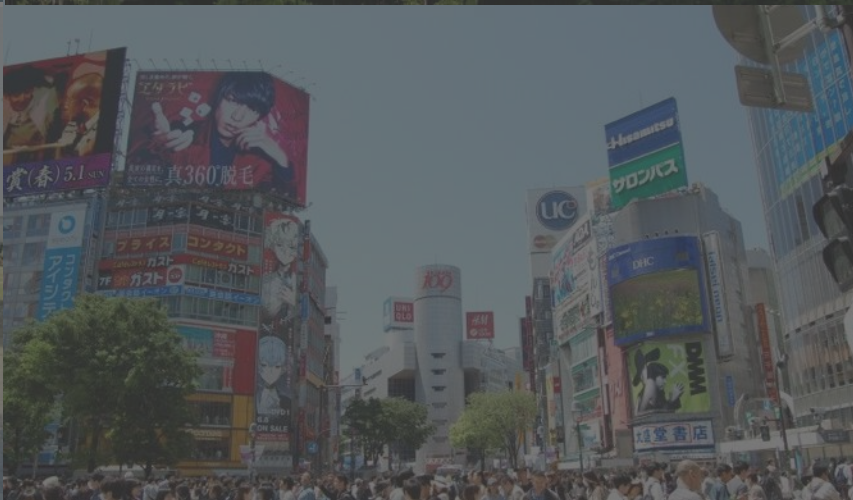
若者の都市集中



高齢化率の上昇



コミュニティの希薄化



県内で隼Lab.に続く
拠点づくりの推進

地域コミュニティの活性化

空き家活用の増加

移住者の増加

町内の廃校活用の増加



新たな事業の創出

新事業・起業家の創出

地域の産業の
アップデート

行政・民間・地域の連携

公的資金に頼らない
民間視点のまちづくり





プラチナ社会を実現し

日本の未来のモデルになる
田舎をつくる

